

学生寮に入寮する方へ

湯島保健管理センター長

## 侵襲性髄膜炎菌感染症と髄膜炎菌ワクチンについての情報提供

侵襲性髄膜炎菌感染症は髄膜炎菌を原因とする重大な感染症です。髄膜炎菌は一部の健康な人の鼻咽頭の粘膜に常在しています（無症状保菌者は0.0～0.4%存在すると言われています）。菌が感受性のある人に感染すると、風邪とまぎらわしい症状が生じて、短時間のうちに激しい頭痛、嘔吐、意識障害やけいれん発作が現れ、高い確率で死に至る（あるいは重大な脳の後遺症を残す）、重篤な転機をとなります。好発年齢は乳幼児・10代後半・高齢者とされ、人ととの接触が密な場所で発生しやすいため、多くの人が長い時間を一緒に過ごす学生寮はハイリスクとなります。実際に日本でも、高校や大学の寮での集団発生や死亡例が発生しています。

予防には「髄膜炎菌ワクチン」が有効です。接種は任意となります、ご検討ください。

商品名	〈国内承認済みワクチン〉 メンクアッドフィ <sup>®</sup> 〈輸入ワクチン〉 Menveo <sup>®</sup> 、Bexsero <sup>®</sup> 、Trumenba <sup>®</sup>
接種回数	1回：メンクアッドフィ <sup>®</sup> Menveo <sup>®</sup> 2回：Bexsero <sup>®</sup> 3回：Trumenba <sup>®</sup>
費用	26,000円～45,000円（施設・種類によって異なる）
効果	およそ80～95% 接種から5年経つと効果は失われるため、5年毎の接種が必要。
相談 接種可能医療機関	<p>◆ トラベルクリニックリスト (日本渡航医学会)</p> <p>◆ 髄膜炎菌について相談できる 医療機関検索 (サノフィ株式会社)</p> <p>◆ 予防接種実機機関検索 (厚生労働省検疫所)</p> <p>◆ 【医歯学系学生のみ】 東京科学大学病院 感染症内科</p> <p>まずは湯島保健管理センターへお問い合わせください。</p>



本件問い合わせ先

(医歯学系) 湯島保健管理センター soudan.hsc@tmd.ac.jp